

第1回栄村むらづくり懇話会

—教育文化部会—

第1節 教育の振興

第2節 学校教育

1. 教育施設の整備

【現状と課題】

・保育園から中学校までの一貫した指導は必要。近隣市町村の殆どが保育園の頃から教育委員会の管轄となっている。栄村もぜひ検討してもらいたい。

・子育て世代にとってはその村がどういう教育体制になっているかが重要。移住を希望してくる人たちにとっても、学校教育は重要である。栄村が教育に力を入れているかどうかが見えない。この部分は移住促進につながると思う。

・飯山市は既に教育委員会の管轄、野沢温泉村、木島平村、津南町、十日町市も同じく教育委員会。栄村でも一貫して保・小・中の体制が必要である。

・信濃町、学校校舎を木造に建て替えて受け入れるという体制を見せている。信濃町は体制が進んでいるし、勉強になる。

・保・小・中の連携とはどのようなことをやっているのか

・新しい建物を作って一つの校舎になる必要はないが、保・小・中でどういう連携ができるか。例えば、小中一貫ならば小学校からの9年間、子どもたちを同じように見ていくということが大事だと思う

2. 教育内容の充実

【現状と課題】

・教育は「内容」である。教育の中で保育を考える。例えば自然の中で子どもたちが自由に発想して豊かに遊ぶ環境を整えて、そこから想像力や意欲を育てていくことが基本の話である。そこから学校の勉強につなげていくべきだ。

・栄村らしい教育とは何だろう.....ということをもみんなで考える。そして保育園の頃から教えていく。

・保育園では与えられたおもちゃで決められた遊び方をしないと怒られる。これでは、想像力はつかない。自然の中に行けば自分で遊び方が作られる。みんなと一緒に遊んでいく中から協調性や主体性が育っていくものだ。小学校からのアクティブラーニングでは遅い。

・栄村は保・小・連携でも遅れている。そんなことをやっているうちに時代に取り残されるのではないかを心配している。入試制度も変わり、私学がみんな変わろうとしている中では、今までのような勉強の仕方では対処できない。子どもたちが大学受験の時のズレが心配である。

・子どもたちを育てていくというのは、産まれてすぐの0歳から15歳までどうやって栄村

の子どもらしく教育しているかの議論が必要。そういう意味で、早急に管轄する窓口を一本化して欲しい。

- ・少人数だからできる教育もある。課外活動や自然体験をもっと行うなど。
- ・少人数だといいい面もあるが、小中とずっと一緒に、人間関係において力関係が変わらない。いろいろな人と交流するなど外からの刺激は必要である。大学生でも地域の人でもいい。
- ・昔は地域社会の中にたくさん子どもがいたので、「子ども社会」の中で自分でいかに楽しい遊びを考えるかということができたが、少子化に加えてゲーム機で遊ぶような環境に変わってきたために生活の中で「体験」ということが少なくなった。なので、地域の中でいかに地域の人が子どもたちに昔の遊びを教えてあげるといった、地域の支えが大事なのかなと思う。
- ・「栄村は子どもたちを地域の中で育てています」というのを発信したい。特色を出したい。

第3節 家庭教育

1. 家庭教育

【現状と課題】

- ・「自然学校」や「家庭教育講座」というものに自ら参加する家庭が少なくなった。子どもが参加するところに親も出て行って一緒に考えるのが家庭教育だと思うのだが、なかなか難しいのが実状。
- ・講座は土日開催。貴重な休日に参加するのが難しいのでは。
- ・都会から来たお母さんからは、日中、子どもとどんなことをして遊んだらいいかわからないという声がある。山の遊びを知らないから教えてくれる人を紹介して欲しいという人もいる。
- ・親によって考え方が違う。夏休みに自然学校を開催することで「子どもが宿題を終わらせられない」と言ってくる人もいる。子育てについて、親が子育てをしやすい環境を望んでいるのか、子どものためを思っているのか、なんとなく子育てをしていることで逆にわがままになってきているような部分もある。よく理解できないことが多くて生涯学習が壁にぶつかっている。
- ・外から嫁に来ると、つながりがないし、友達もいない。こういうところは村がバックアップして欲しい。
- ・子育ての部分では子どもにスマホを与えておけばなんとかなると考えている親もいる。保育園の一番の課題は子育てよりも「親育て」ではないか。
- ・子どもたちが集落に帰っても遊ぶ相手がないのと、遊べる場所、集まる場所がない。子どもたちが放課後も遊べるようなところを作って欲しい。

第4節 社会教育・生涯教育

1. 社会教育・生涯教育

【現状と課題】

- ・活発な栄村の公民館活動を教育に活かしたい。
- ・栄村の文化祭も凄い。この行事にはほとんどの村民が来る。外に発信したい。
- ・「公民館方針」、寄り合う場を大切にしたい、例えばスポーツを楽しむ、釣りを楽しむ、料理を作り楽しむ仲間が集まって、そこから栄村の活力を生み出していく。
- ・集落対抗の運動会をやったらいい。みんなが元気になるし、集落の中で子どもを育てていくことにもつながる。

第5節 文化財の保護

1. 環境学習・保護保全活動

【現状と課題】

- ・ジオサイトは子どもたちにどのように伝えているのか
- ・ジオサイトのガイドを子どもたちが行えるようになればよい。

第6節 歴史・民俗の記録、継承

1. 歴史・民俗の記録、継承

【現状と課題】

- ・栄村の歴史と文化は資源である。それを後世に継承していきたい。